



# イノチオ診断室からの 病害虫情報

2021年  
3月号



**フザリウム属菌による病害**の持ち込みが増加中！  
気温の上昇と共に増加する危険があるため発生にご注意ください！



トマト 立枯病  
(フザリウム完全世代：赤い子のう殻を形成する)



キク フザリウム立枯病

<b>病原菌</b>	糸状菌 <i>Fusarium oxysporum</i> ・ <i>Fusarium solani</i> など
<b>感染作物</b>	ナス科 (トマト・ナスなど)、ウリ科 (メロン・キュウリなど)、キク科 (キク) など
<b>症状</b>	株の萎れ・黄化・枯死、地際部の黒褐変、根の褐変腐敗、導管褐変
<b>多発条件</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 高温時 (25~28℃前後、病害によっては10~20℃の低温の場合もある)</li> <li>▶ 過去の発病圃場 (土壌・培地中の残渣に菌が生存するため)</li> <li>▶ 肥料過多などによって根傷みしやすい土壌環境</li> </ul>
<b>対策</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 被害株の圃場からの除去(隔離栽培の場合は培地も合わせて除去する)</li> <li>▶ 土壌消毒(バスアミド・クロールピクリン)の実施</li> <li>▶ 耐病性台木の使用(トマト：根腐萎凋病など)</li> <li>▶ 堆肥や土壌改良剤による土壌の物理的改善(加湿対策)</li> <li>▶ 過剰施肥を避けた管理(根痛み対策)</li> </ul>

※農薬はラベルを  
確認後ご使用ください。

## ! 病害虫発生予報 !

※『あいち病害虫情報』発生予報第12号より (3月4日発表)  
<https://www.pref.aichi.jp/site/byogaichu/yosatu2020.html>

作物名	病害虫名	発生量	作物名	病害虫名	発生量	作物名	病害虫名	発生量
キャベツ	コナガ	やや多い	タマネギ	白色疫病	やや多い	ナス・イチゴ	灰色かび病	やや多い
トマト	灰色かび病	やや多い		べと病	やや多い	コムギ	赤かび病	やや多い
	葉かび病	やや多い	キュウリ	灰色かび病	やや多い	ナシ	黒星病	やや多い
	コナジラミ類	やや多い		べと病	やや多い	モモ	せん孔細菌病	やや多い

## 土壌コラム 第7回：植物に必要なミネラル

植物の生育に必須な成分はそれぞれが特有の機能を持っています。そのため土壌中の各成分量が不足した場合はその成分に特徴的な症状が現れることとなります。土壌分析を行うことによって、これらの症状が発生する前に対応することができます。



成分	機能	おもな欠乏症状
リン酸 (P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> )	核酸・細胞膜の主要成分	花数の減少・生育不良
カリウム (K)	果実肥大・浸透圧調整	下位葉の褐変・果実形成の不良
カルシウム (Ca)	細胞壁成分・土壌pH	新芽・根・成長点の生育不良
マグネシウム (Mg)	葉緑素の主要成分	葉脈間の黄化
硫黄 (S)	含硫アミノ酸の成分	下位葉の黄化、枯れ上がり

## ☀ 気象庁1ヵ月予報 ☔

気温：高い  
降水量：多い  
日照時間：少ない

過去の診断室情報は  
右のQRコードから！  
毎月の防除情報も  
配信しています！

